

## 研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

日本人におけるアンジオポエチン様蛋白濃度に関する探索的研究

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2008年4月～2018年12月に当院糖尿病代謝内分泌内科に2型糖尿病で入院または外来通院され、「日本人2型糖尿病患者におけるテストミール及びブドウ糖負荷試験によるGLP1濃度の検討」の研究にご協力して頂いた方

### 2. 研究目的・方法

アンジオポエチン様蛋白 (ANGPTL) は、多様な作用があり、脂質異常や心血管疾患の発症とも密接に関連することが報告されていますが、これまでに ANGPTL が低比重リポ蛋白 (LDL) や高比重リポ蛋白 (HDL) の質的な異常と関連するかについては報告されていません。そこで既に ANGPTL 濃度を測定した 2 型糖尿病患者さんを対象に血中 ANGPTL 濃度と LDL・HDL 脂質検査項目や合併症との関連を後方視的に検討することを目的としています。

なお、本研究はデンカ生研株式会社から受託して行う研究です。

### 研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから 2021 年 12 月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧（収縮期/拡張期）、脈拍、糖尿病罹病期間、合併症の有無、内臓脂肪面積、各臓器体積、脂肪体積、診断病名、既往歴、現病歴、嗜好歴（喫煙歴・飲酒歴）、家族歴、併用薬、血液・尿検査項目（血算、生化学、脂質関連検査項目、ANGPTL 濃度）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 氏名：長池弘江

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8947（内線 3505）

研究責任者：

所属：昭和大学医学部内科学講座糖尿病代謝内分泌学部門 研究責任者：長池弘江